

DREAM AS ONE.

～ともに一つになり、夢に向かって～

2014年、三菱商事は創立60周年を迎え、

これまで取り組んできた障がい者支援をさらに強化するため、

障がい者スポーツ応援プロジェクト「DREAM AS ONE.」を立ち上げました。

「障がいを持つ人々がスポーツに親しむ機会を増やしたい」、

「障がい者スポーツが持つ勇気と希望、感動を共有し応援の輪を広げたい」。

競技者と応援者両面への働きかけを行うことで、

ともに一つになって、夢に向かっていける。

私たちはそう信じています。

1 障がい者スポーツの裾野を広げます

2 障がい者スポーツに対する理解度・認知度を高めます

写真：フォート・キシモト

障がい児向けスポーツ教室



- ▶ 障がい児を対象としたスポーツ教室・7人制サッカースクールなどを開催
- ▶ 障がい児に体を動かす場所・機会を提供

セミナー（ボランティア養成講座）

- ▶ 障がい者スポーツの基礎セミナー・ボランティア養成講座を定期的に開催
- ▶ 各種競技大会へのボランティアの参加を促進



スポーツイベント



- ▶ 障がいの有無にかかわらず、一緒に参加できるスポーツイベントを開催
- ▶ 障がい者スポーツに対する認知と理解を高める機会を提供

競技大会

- ▶ 「大分国際車いすマラソン」への協賛
- ▶ 「7人制サッカー」の大会開催の支援・選手育成
- ▶ 障がい者陸上競技大会のサポート



DREAM AS ONE.

始動！

2014年10月16日、三菱商事本社ビルにおいて「DREAM AS ONE.」の発表会を開催しました。当日は、本プロジェクトのアンバサダーとサポーターによるトークショーも行われ、障がい者スポーツの“これから”について熱い想いが語られました。



高橋 勇市さん アンバサダー

日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)所属。高校2年生の時、目の疾患である白点状網膜症と診断される。その後、網膜色素変性症を併発し、34歳で完全に失明。2004年アテネパラリンピックマラソン(視覚障害1)金メダリスト、2006年世界陸上競技選手権オランダ大会マラソン(視覚障害1)金メダリスト。

障がい者スポーツの裾野を広げるためにも、まずはより多くの人に障がい者スポーツを知ってもらい、ボランティアの協力者を増やすことが大切。アンバサダーとしての役割をしっかりと務め、サポーターの皆さん、三菱商事と一つになって、夢を追いかけたいと思います。

車いすマラソンの競技人口が若干少なくなってきたおり、ジュニア世代の発掘・育成は大きなテーマ。このプロジェクトを通じて、競技人口の裾野拡大につなげていきたいと考えています。



佐藤 隆信さん サポーター

三菱商事太陽(株)所属。23歳の時、転落事故により脊髄を損傷し車椅子生活となる。大分国際車いすマラソンには1988年の第8回大会から出場し、今年で22回目となる。

「DREAM AS ONE.」本当に良いタイトルだと思います。ともに一つになり、夢に向かって、誰もが障がい者スポーツを楽しめるように、より多くの取り組みを進めていただきたいです。



根木 慎志さん サポーター

高校3年生の時、交通事故により脊髄を損傷。以後車椅子の生活を余儀なくされる。2000年シドニーパラリンピックでは、男子車椅子バスケットボール日本代表チームのキャプテンを務める。現在は、日本パラリンピック委員会運営委員、アスリートネットワーク副理事長として活躍中。

イベントの立案・企画段階から、企業が持つ知識や経験を活かすことで、誰もが参加しやすいイベントを開催できると思います。多くの方に参加いただくことで、障がい者スポーツに対する理解が高まっていくと考えています。



高田 朋枝さん サポーター

5歳の頃から視力が低下し、網膜色素変性症と診断される。2002、2003年と日本ゴールボール選手権大会準優勝。2007年日本ゴールボール選手権大会で最多得点賞を受賞し、チームを優勝に導く。国際試合でも活躍し、2008年北京パラリンピック第7位入賞。